
「血液培養ボトル供給不足の診療行動および臨床アウトカムへの長期的影響の研究」 に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療情報を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

血液培養ボトルが供給不足であった期間（2024年7月1日から2024年10月31日）に埼玉医科大学総合医療センターにおいて血液培養検査が実施された患者さん、および比較対象として供給不足前後の供給に問題がなかった期間（2020年1月1日から2024年6月30日および2024年11月1日から2025年12月31日）において血液培養検査が実施された患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

血液培養ボトルが供給不足であった期間における血液培養の実施状況や陽性率、感染フォーカス、臨床転機、使用抗菌薬、検出微生物などを解析し、供給に問題がなかった時期と比較検討することによって、血液培養ボトルの供給不足下に実施された対応について検討する。

3. 研究期間

病院長の許可後～2030年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2026年3月5日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

この研究で得られた患者さんの情報（年齢、性別、現病歴、既往歴、症状、血液検査や血液培養検査、画像検査の結果など）は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、個人情報安全管理担当者である西田 裕介が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

血液培養検査が実施された患者さんの検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

・ 埼玉医科大学総合医療センター 総合診療内科（研究責任者：三村 一行）

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 総合診療内科 三村 一行

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 番地

電話：049-228-3923（直通）（月・火・木・金 9時～17時）

○研究課題名：血液培養ボトル供給不足の診療行動および臨床アウトカムへの長期的影響の研究

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 総合診療内科 三村 一行